

エイトリアンカップ 2018シリーズ規則

1. 主催

レーシングチームエイトリアン (RTE)

2. 2018年度エイトリアンカップ シリーズ戦 開催日 (全7戦)

2018年 1月28日 (日) 筑波サーキット コース2000

2018年 2月 9日 (金) 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース (フルコース)

2018年 4月15日 (日) スポーツランド SUGO

2018年 8月下旬 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース (フルコース)

2018年 9月中旬 富士スピードウェイ

2018年11月下旬 岡山国際サーキット

2018年12月23日 (日) 筑波サーキット コース2000

※開催日は予定含む。上記以外にも開催日を追加する場合がある。

3. 車両クラス区分

(1) クラス共通規定

以下の全ての条件を満たすマツダ RX-8 のみ参加車両として認められる。ただし、主催者が特別に参加を許可した場合はこの限りではない。

ア エンジンが RENESIS (13B-MSP)、またはこれを加工したものであること。なお、エンジン本体に純正以外のパーツを使用する場合は、純正以外のパーツ比率を概ね20%以下とすること

イ 車体フレームがマツダ RX-8 のもの、またはこれを加工したものであること

ウ ボディ形状が概ねマツダ RX-8 であること

エ 保安基準に適合する車両であること

注1：競技参加当日に有効な自動車検査証がなくても構わない

注2：当日行う作業により保安基準適合状態になることを条件に、保安基準不適合状態で走行することは構わない (例：助手席の取外し、車高調整など)

オ ドア、窓ガラスの材質を変更する場合は事前に主催者の承認を得ていること (主催者は安全対策の程度により参加を承認しない場合がある。)

(2) クラス別規定

クラス名	定義
Open-S	上記 (1) の範囲内で一切の改造が認められるクラス。
Open-R	以下の項目が禁止される他は、上記 (1) の範囲内で一切の改造が認められるクラス。 ア 市販ラジアルタイヤ以外 (例：S タイヤ、スリックタイヤ等) の使用
Expert	タイムアタックシーズンに、(1) 筑波サーキットコース2000 を1分7秒

	<p>000以下、(2) 岡山国際サーキットを1分52秒500以下または(3) スポーツランド SUGO を1分42秒000以下で走行できる方(走行経験がなくてもこれまでの経験から同等のスキルを有すると思われる方を含む。) 限定のクラス。</p> <p>車両は More クラスと同様とする。</p>
More	<p>以下の項目が禁止される他は、上記(1)の範囲内で一切の改造が認められるクラス。</p> <p>ア 市販ラジアルタイヤ以外(例:Sタイヤ、スリックタイヤ等)の使用 イ 過給器の装着 ウ NOSの使用 エ パーツ加工を伴うエンジンオーバーホール(例:ポート加工) オ ドア、窓ガラスの材質変更</p>
Light	<p>以下の項目が禁止される他は、More クラスの範囲内で一切の改造が認められるクラス。</p> <p>ア 245以上の幅のタイヤの使用 イ 20インチ以上のホイールの使用 ウ コンピュータの変更(スピードリミッターの変更のみの場合を除く。) エ エアクリーナーボックスの変更 オ エキゾーストマニホールドの交換</p>
AT	<p>トランスミッションがオートマチック(AT)の車両のみ参加が認められるクラス。</p> <p>改造等については More クラスの規定を準用する。</p>
タイヤ制限 (TireLimit)	<p>以下の項目が禁止される他は、More クラスの範囲内で一切の改造が認められるクラス。</p> <p>ア 平野タイヤ商会(http://www.hirano-tire.co.jp/)の販売価格(概ね走行会開催日の1ヶ月前の価格を目安とする)が1本2万5千円(税込)超のタイヤの使用</p> <p>【補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平野タイヤ商会で取り扱いのないタイヤの販売価格(使用可否)については専売サイト等の販売価格を踏まえて主催者が決定する ● タイヤおよびホイールのサイズについては不問 ● 1年間に使用できるタイヤの本数は無制限

※参考：別紙 クラス分け一覧表

4. 順位の決定方法

(1) Open-S/Open-R/Expert/More/Light/AT/タイヤ制限クラス

走行枠全ての計測タイムを対象として、クラス毎にベストタイムが速い者を上位とする。

同一クラスでベストタイムが同一である場合、当該参加者のセカンドベストタイムが速い者を上位とする。この場合、セカンドベストタイムが同一であるときは、ベストタイムを先に計測した者を上位とする。

(2) レースクラス参加者の特則（レースクラスが設定された場合のみ）

レースクラス参加者については、レース決勝順位（レースクラスが複数設定された場合には各クラスそれぞれについての順位を有効とする。）に応じてポイントを付与する。この場合の付与ポイントは当該対象者の最終戦における参加クラスのポイントとして加算する（例：最終戦に Expert クラスに参加した場合、当該レースのポイントは Expert クラスのポイントを獲得したものとして当該対象者のポイントとして加算する。）。ただし、レースクラス参加者が最終戦に参加しない場合は、主催者がポイントを付与するクラスを決定する。

5. 付与ポイント

(1) 全クラス共通のポイント（レースは決勝順位）

1位	20ポイント
2位	16ポイント
3位	14ポイント
4位	12ポイント
5位	10ポイント
6位	8ポイント
7位	6ポイント
8位	4ポイント
9位以下	2ポイント（タイム計測がなかった者を除く）

(2) 最終戦ボーナスポイント

最終戦に当該サーキットの自己ベストタイムを更新した者に4ポイントを加算する。

(3) ポイントを付与しない条件

上記(1)～(2)の定めにかかわらず、以下のいずれかに該当する者に対しては、各区分記載のポイント付与は行わない（各イベントの表彰対象から除外する趣旨は含まない。）。

ア 赤旗の原因となった者。ただし、前兆のない車両トラブルに起因する場合は除く（該当者は主催者が判断する。）。 (1) および(2)に定めるポイント

イ More クラス参加者のうち、以下に掲げる各サーキットの基準タイムを上回った者（記載のないサーキットにおいてエイトリアンカップを開催する場合は、募集時に基準タイムを発表する場合がある。）。ただし、当該 More クラス参加者の対象サーキットの走行経験が1度もない場合は除く。 (1) に定めるポイント

(ア) 筑波サーキット コース2000 1分6秒500

(イ) 岡山国際サーキット 1分52秒000

(ウ) スポーツランドSUGO 1分41秒000

(エ) 鈴鹿サーキット及び富士スピードウェイは設定しない

(4) 注意事項

イベント開催中（競技中のみならずパドック内等での行為を含む）の危険行為、ルール違反行為、マナー違反行為などを理由に、年間シリーズポイントの全部又は一部を、主催者の判断で取消すことがある。

6. 年間シリーズポイント

- (1) 各開催日の付与ポイントのうち、各参加者においてポイント獲得の多い上位**4戦分**（最終戦ボーナスポイントを除外して判断する）のポイント合計したものに最終戦ボーナスポイントを加えたものを各参加者の年間シリーズポイントとする。
- (2) 各参加者がエントリーするクラスを変更した場合、クラス毎に年間シリーズポイントを集計する（参加者単位でのポイント合算はしない。ただし、本規則に基づくレースクラス参加時のポイント計算時を除く。）。
- (3) 2記載の開催日以外に2018年中にエイトリアンカップを追加開催した場合、追加開催日もシリーズポイントの対象競技とする。
- (4) 年間シリーズポイントが同点の場合は、優勝（1位獲得）回数が多い者を上位とする。優勝回数も同一である場合は、最終戦の成績上位者を上位とする。

7. シリーズ表彰

- (1) 各クラス、年間シリーズポイントが最も多い者をシリーズ優勝者として表彰する。ただし、以下のいずれにも該当しない者はシリーズ表彰対象外とする。
 - ア 年間シリーズポイントが36ポイント以上の者
 - イ 参加イベント数が3戦以上で、かつクラス優勝または準優勝が1回以上の者
 - ウ 主催者が特別に認めた者
- (2) シリーズ表彰式は最終戦の表彰式と併せて行う。シリーズ表彰式に参加していない者は表彰対象外とする（順位の繰り上げは行わない。）。
- (3) 各クラスの参加者数に応じて、年間シリーズポイントが2位、3位の者を表彰する場合がある。

8. 最終戦への優先参加資格

- (1) 最終戦の申込開始時点で、各クラス年間シリーズポイント上位の者（最終戦の成績によりシリーズ優勝ができる者に限る。）は、最終戦に優先的に参加することができる。ただし、主催者が指定する期日までに参加の意思表示をしなかった場合は、当該権利は失効する（通常の申込を行うことは可能）。
- (2) 最終戦の申込開始時点で、最終戦以外のエイトリアンカップ開催予定がある場合、上記（1）の対象者は、当該エイトリアンカップの参加予定、その他の事情を踏まえて主催者が決定する。
- (3) 主催者は、最終戦への優先参加資格を付与された者に対して、最終戦の申込開始前に優先参

加資格があることを連絡する。

9. 規則の運用及び変更

本規則は主催者の判断で変更することがある。また、本規則の運用、解釈については主催者の判断に基づき行う。不明な点があれば、適宜主催者に確認すること。

なお、ドライバーが著名なレーシングドライバー等で他の参加者との運転技術の差が著しい場合等、シリーズの開催趣旨に鑑みポイント付与を行わない場合またはイベントの開催趣旨に鑑み参加を認めない場合がある。

以上

別紙 クラス分け一覧表

	クラス	Sタイヤ	タイヤ・ホイールサイズ制限	車高調への交換	コンピュータ変更	ポート加工EG	過給器(NOS含)	エアクリ形状変更	マフラ交換	エキマニ変更	触媒変更	LSD
1	OPEN-S	○	制限なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	OPEN-R	×	制限なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	Expert	×	制限なし	○	○	×	×	○	○	○	○	○
4	More	×	制限なし	○	○	×	×	○	○	○	○	○
5	Light	×	以下禁止事項 タイヤ幅245以上 ホイール20インチ以上	○	×	×	×	×	○	×	○	○
6	AT	×	制限なし	○	○	×	×	○	○	○	○	○
7	Tire Limit	×	制限なし	○	○	×	×	○	○	○	○	○